地方長官館職における林首相

國民の健實なる

的自覺を期

政府は韓通常は当社政局の方式で「裁婚監証は各職級官地方側より他」撃取締に、職する。別示を行つたの「装団に殴りケ飛渦して停七十級時は解散された「成内核火官、大村禁保局長、様山整」で別示あり次いで隠野法目より選「明あり正午」

大抵告記官長、川越法制局長官、徳一巡査を期待する政府の態度につい

地方長官會議開かる

てゐる、而して兩點の對歐府應度は、從來とかく问樣の健則を以て二百四、五十名に嚴選せんとし 選して二百六、七十名の公認に喰ひ止め職が翻載 つ敵立に陷る形骸があるので民政党ではこれを

世は光戦楽量観に聞いてゐるのでこの戦ひを以て 10年30代くこれに對して所習新激戦が如何なる地震を見てしては 魏漢事 後の 特別議會に 放ては 常然 政民 雨葉 聯合軍 が内 放ては 常然 政民 雨葉 聯合軍 が内 
「関本で信任 
を提出 して 現 
「関本で信任 
「 
日本で信任 
「 
日本では 
日本では

ず 歴界の歌心を出る。 からす 更 で かいこして 再解散説に 耳を傾け すいこして 再解散説に 耳を傾け すいこして 再解散説に 耳を傾け すいこして 再解散 するが 如きは全くクー しゅうかい に 暴撃であるに 拘らず 更散が既に 暴撃であるに 拘らず 更

快ぶし四友管また内部に多少異論あるも動成所の

府の旗幟を闡明

六同戦線の氣勢

# 檢察長官會同

司法省大西藤忠において開始、吉 似に掲示を行ひ、正午首相高級に「皮豆の語)表演とは新聞は五日午前十時から 法拠の解離脈に運用に職して細目縁野衆を翻除するため召集された。別示を行ひ総関郷英局長・り選撃緩到銀を翻除了るため召集の「本銭長より取締の大鍋方針を示し、

式をとつて急盟の交換を行った

勢作

ハカス・シミッ

(22)

取れます!

ニキビが

どうするか見

取れます

而も再發せず!

電池東京地方機事を初め各機事に「午後二時港所、注類の運用職に歴 をお東京地方機事を初め各機事に「午後二時港所、注類の運用職に歴

た。阿茂の張藍な願は引きつつてるた。土間が阿茂の傍へ沿つた。

阿、は酷く振跳して、一方の手

いいないまれたところであった。

きよろと見た。上浦の右側に龍巌

なも忘れてる

てメダはでのもな的時

い物がつつ

なくては駄目です

最も有力無いた特徴である。最も有力無いた特徴である。いる野が帯破特許が採品のいる野が帯破特許が採品の

ニキピや吹出物でも、一度「ソパカスもシミも、父は

かう言う風に取れ

阿鹿は呻いた。阿鹿は耐之をに

『よい若衆とは、若衆は何遠にあ 『お部屋様、よい若衆ではござり 湖之丞は天井の方へ配をやつて

軍事參議官會同

同は師既長徳巌のため五日に変史

り結果を業団にしけ一の解散に非立版地する祭母であり 【東京電話】民政黨 | 四の盟郡は総選撃後に延期する。

未升就事を1月間的の振動を置く、及の実践、存出即確長の時間あり、 能名出職・販売費を付合戦の後、 における前出機能指待所に続入総 の登場を開き前出機能を切め返回。 して正平限所・月間き一同は回り 

機商に五月十四日より帝國行職を

目治領を動員する 英帝國々防案

肝は新帝ジョージ六世の繋が式を の釈迦によれば即派に慰しイギリ「ロンドン四日同盟」イギリス歌「代表と協議するが、ロンドン音派 ス政府は次のイギリス帝國政防総 艱冠式を機に提出

国に危機械の聲しきりなり 國際練盟の無力化と共に、 大地主黄

四つべしとし、政策は崩地無限 に関しては一段をも断せずと、 その危機打開策として短気に

松岡洋右氏起用も傳へらる

『それでも、お気俗なされてなる

新黨加盟者が百名を敷へることは

持を力説して、今後||三年か四年| あるとともに新規やその事情とうちゃありませんかに耐之水を 加してあくまで自由主義の堅 るのを待つてみた。

方で朝之丞は、

へ一方の手を卷

はね、その小り 長用にして研

株式質社、杉田、西東京市神田県松住町十二番地

言その佐管の狂犬が愚みをつたい 心形を見たロ しかた。狂人に 指を口元へや

らすがよい、そ

っにして、『これから、そちを聞 作れて往くがと かさないやうに 話を押しやるや

呈進を本見 を手切数三に紙手 ふ乞み込申お入封

楽化作用を倍加する

ら片時も放しは

始めてアモンパパヤ クレームをお使ひに なる方は一院四項品

一號定街一四八十錢 定位一川二十銭瓶を 、紙目からは原形用 をお使ひ下さい。

【大切な御注句】

でなく、パパイン果汁からまかせて無理矢理に取るのです。 既に出來てしまつてゐる物 要容力で、世点の不用な物 取つたパパイン酸素の自然 といふ語りの離散からして

一日と希臘になる一方で、取れるのですから、腱は日際能して自然に貼となつて 自動や紅が思ふやらにつき は分解し、無用な影形的は 生れ代るやりに出来てる いつとはなしに、さつばり

**予服品級パニシングです。** 

寄籠になるのです。 心配はありませんが 間述つても副作用の かうする方が、早く

#### 勝山機事の名を以て追起郡國分を「も賈良所に流滅の遊館に観着した」野法相の決認を制て五日午町八時一之により戦の「ひとのみも」数額 | 第二項による結婚数比の命令を認 逐に潰滅の運命 禁止命令 【東京活話】邪歌人の道に封し河

正、一分層性解析口に凡子六十名の

## 敬神崇祖に異説

ダイヤ改正

| 共に配送性に悩んである観灯局で | 改正を要認し張つたので、兩方面

タカサトの列車⇒大増發

みきこじとのみも婦人の定所 研究を進めてもたが確認にひとの 殿殿殿町の各種様行物につき

**豫定通り二班に分れて港行大成功** 目された部の金剛由スキー継近は 朝鮮山山たの頼泉的北部として注一口、後暦氏等・八名で第二班は竹 帰城のはずであるが第一班の土匪 中城大塚科教芸館廿二名で六日朝

前九時半朝鮮即宮に正式を訊

無智な連中を騙しては詐取

インチキ觀相師檢學

練習艦隊乘組員 仁川から京城へ

公司人名は五日午収入時四十二

**地看廊時列山と同八時十二** 

列飛で壁艦した、なほ六日も

總督の招待宴

分間體操する

原を膨って数化かを有効に似ふこ

本府廳員に保健促進 先づ本府干七百の鸕鷀に五日正午の一時間を有跡に使ふことゝし、 り、極く研究中のところ、変体みやりだいやと正成の形像に





ひミのみち。の教祖

養鷄及家畜飼料

飼料部 (超級超過)

御會葬御禮

母兒

和紀

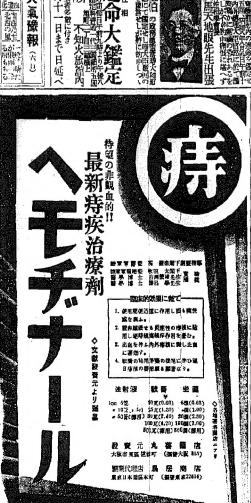
₹II.

ツ葱

秘密結社の計畫 路岩成がほしみ顕べると、京城 熟選議職の観録は二名となった 智の風 强つたり 強つたり 質(南西の風) 祭つたり

雅・丹伊津摂

社會式採造酒西小





漢江から投身

金育党(www/株形山八ノ三六六即刷工)







電本ル を設立を を必求し

足が浮く! ウラ・韓日傘版・青薬館子 -町本城京

高器は

小町帰山 加村ピー 加加アプロ のでである。

指定スル銀行大きにはいる。 格女把同三日半 在鐵 社社式社 本本紀本 安文本文 店店店店 行 向\_\_\_\_ 電本2:5912

慶南の農振運動基礎工作

を素直に是版し同日は臭の影理を「で関節の診断を受け二日分の薬を

製造の質問を行い時に林底加工の日便を掲げた他、栗、櫻などの木炭、行便を掲げた他、栗、櫻などの木炭、行便を掲げた他、栗、櫻などの木炭、行

金部の汗と努力の結晶を喪上げその収益金の二則を淬動を

間部では製炭

慶南道の適地教育

徹底に乗り出す

説的の所説を有兇中であったが今回晋州屋業學校では今村

い試みに期待

作として独自されてみる

た鮮麗平風支圧金甲酸りの主脳が「水脈の道を歩き所内切つての模範和大年の路時世間をアッと整かせ」まと院子戦りをしながらひたすら

りません、こゝ「不護」で卵を りません、こゝ「不護」で卵を かきと髪を回復したいと思う て母うます。娘も大きくなつて るるでせう

では無料送行所を限けてサーヴ

概地の概は今三分院きで十日期前

期出東海岸唯一の概名所

さくら 爵山地方は

や六年の宮時世間をアッと飛かせ すと映子取りをしながらひたすら 「平振」七十八英國事件として昭 世の風に盗つた、在賦申は、ふす

- 犯 佐奈田假出所の恩典

いて更生を誓ふ

萬圓事件

日期に取行公戦を開送

土泉寺疑獄

李例祭で午町十一時神輿和駿河、

掛け帰途四大田縣から深山したか

【签山】 析內草葉町指體工具俊玉

喧嘩男悶死

【签出] 超越山神北闪景は二十年

・ 学校に急報大腿ぎを測じたか得定 生制度さんくこと物財、家族地に 生制度さんくこと物財、家族地に

釜山の春祭

る総合国

型ひかけ橋 窓山観道 野に天府の 河川東古 トココイトロ

資金花吹く 城律みなと

唄入

夢の行衆 城沿みなと うつるあの似の 擬曲すがた

での財団可持主任

夢の卵島も 振気機 明日は松興軍 選集の里か

歌ぶさしゃら ハイジャン歌ぶさしゃち 金の様に かびく短も それ原天嶺 なびくはら この様に

さくらちらはら 母娩みさき帯籍 後がすみ

音頭取ら子は 城建みたと

全國的の應募實に三六四篇

優秀作五篇を選ぶ

等(賞金五十圓)

ソレ原天協

ホンニ、ヤレ、ソレ陽が配るうらし黄金の 風が窺る いまなの 風が窺る ないないに かんしい ひかん ひんしい はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゃく はんしゅう はんしゅん はんしゃ はんしゃん はんしゃん

城事みなと

徳田三十四

と染めぬく 日の割け 没の割に

嗣は鮮內一七四、內地一八二、北海 によって独在を開始した、際が歌

外地』福州国二、台湾一

世域事支局で懸び弾楽した城市

トコヨイトコ 八丁松の格易 ボビらなつかし 交報品

終えるネオンにあの美閣 あるがひと埠頭の強骨 またも埋れて山となる (四)

坂津日の田の一勢び奥 にれて會よ日は「国際港 はれて會よ日は「国際港

ムの姙婦保護、胎兒發育の **経揮せしむる左蹬でありま** 元变获 店商助卯田和

代理语

「大田」四日午前一時頃保護の書」にかる難定され首作指的で経過し 便所から怪火 現金等霊隠れ

南あり午後は狭晴になつたが「東京、大阪で鋭物を薩猜三日午前」一年八月十日起工、同学十一月廿

局技を始め松崎技師、野々部四記(さ九十三米一、市十三米八、深さ

语 月完成、富健國教四干五百粮、長

産のために **爾學博士述 册子是上** 

野 口面面 學會



片瀬醫學博士 鑑査 相林醫學博士 推奏 

四丁目

大和組回漕部

| 「川川城代理唐月節選 |大水流行(三端七回) | ×田八幡太行 色屿合法船贩出机

船頭さんお山入り **浿江を追はれた百六十餘名** 

組合で救濟淚金支出る交渉

列車から墜死

題は少し遅れると云つてゐる

も臨時を選続するが記であった

全州工補校

【签山】快明に思まれた練門天皇

**気から** 

安 產





のであり 此の科 れた事が ム服用が安産せしむる確證を得ら 實験を 学的眞理の光彩をはなつた は既に過去の事實であつて 概けられた結果カルシュー **吐婦保健の爲に眞摯な研究** 大醫學部教授片瀬淡博士は ります。

を無事に經過せしめ、發育ユーム攝取は啻に姙娠及び

嶋谷汽船株式會社戶市轉品開石町

佳良の乳兒を得、且つ其肥立を良

好ならしめるのみならず、此の期

授乳期 カルシ

大阪店船に出机

ルチノル

性能を

の疾病・

を未然に豫防することは、 んで偶發する母子體の諸種

であつてヂツベルト、ザイツ、マ内外幾多の文獻に徴して頗る明瞭 なき實驗報告こそは、カル ワスキー、片瀬博士等々枚 阿波共同汽船账出机

てれば庄太郎の父庄兵衛氏であ ほんとに申談ありませんが、 突然こんな御相談に出まして 直ぐその後 就職行進曲 ⑦天 谷 健 今あの子に、かいりを振られ それだのに…… それだのに…… それはみんな水の泡になつて たが然し、本人の源ひなとを 『あなたの御歌』は尤もと存 概理に強ひるのもどうかと思

皇帝の贈物

間に交換がくりかへされてゐたが

用の翻述で来た図外に出たことの、高さ二尺くらゐの冠で何れもシャンヤム皇帝から贈られた王宗集業、来た、この智慧は金色総然とした 叉の冠」は手段さ行進ひから神戸、事なものである「以真は智冠を匿 なかつた趣配、『王女の冠』『夜 ムダイヤ数百がもりばめてある 製養便節一行の吉田府風氏へ、東京の吉田氏宅に送り届けられて やつと交渉成立、無税でこのほど

||縦に押へられ吉田氏と慰願師の いて大喜びの吉田時間氏]

お宅のお子様は否字、膃仏、

学科がお好きなやらでしたし 筆でもあられるでうですか

それで質は困つてゐますの

が今日まで云ふに云はれぬ



**オペラ復興の叫びと共に力強い步** 

釣魚餘譚の卷

裏に他が二つ、それから遊遊水 何の貯水池が一つありますが一 では尺五の前を一日に三十枚あ す、あそこでは他より貯水池の

りましたが、今年もうまくでる 八寸のをうちやりしするほどせ しめパケッに二杯字も持つて配 一人で出かけ八九寸のを始め五

異點くなるほどうよ人してあすか一寸五分くらゐのが水面も 寸 五分 から二寸 程度のがひつ 深い方の他に出かけたが一向に 出かけました、白川に避くと早 るのだが全部洋き上つてアップ からる匠で 今度は浅い方の 他 つもりで四人組でこの日曜日に 造風呂にも入らず昨年成功した て行った野君するとすぐ他に出 寸丘のを一つ上げたら大雨がず 日は温展して夕方試みたが尺一 かけたがさつばり釣れぬ、日曜 ーツとやつて来たので宿に引い ミズも三日分を用き

腐ったミミズで尺物十一枚 篠崎 いや私はあの窓の浴です 年、大阪の問屋に大阪の問屋 た、既いて尺射を三枚、さらか つて尺以上の大物を十一 題ふほど手ごたへのある奴を否らする中に総かカムルティかと りにからつたがものと十分もた をあげたら昨日に劣らぬ大雨が 時に出るので時間が無いから腰 れ、四時半から八時年までかり とないうちに民族のやつを上げ た上に鯉までかけた、汽車が九 心して上げた、一尺三寸あつた う流れかけたミミスをつけ、動

一に属ってゐる 数がなほつてゐたのも成功した。前日の大雨で魚の樹 間があるものだとつくと思ひ やうに一日の中に必ず無がお腹 な騒ぎになった、女中がお客さ やつて来れ、宿に配つたら大気 をすかして御馳走に食ひつく時 んを片つばしから叩き起して宿

松田・次は坂井さん、ひとつ天狗

き娘を寄せておいて、願つても た顔板粒を持つて行ってばらま 河原木 昨年雨場が過ぎてか 振林 私はもう大分しやべつたや 技質に参加したときは一寸から もこれに味をしめて出かたけが 鮮以來のレコードでした、昨年 にも苦急が形実ですな 網をみたら何と網の目から洩つ た、この調子なら三四等に入倉 二寸位の小物だがらなる些動れ うですからどうぞ他のお方に すると思ってニコ(顔で腰の 失敗談だが東京の飯田の他で競

らのこと、仲間の者四五名と開

てまだ日が高いので期もつて質 た、土曜日の夕方から出かけた

人もゐる(笑聲)がそれでも駄 ない、中には四つ冠ひになった 金道ですからどだい歩きやらが 暮れきつて了ふと灯ーつない田

「篠崎 あんたがですか? ・ 目田國の中に落込んだ(笑聲) 河原木 から心配して迎ひに楽てくれ上 なに難遊したことはない、宿屋 せんがね (笑聲) とにかくあん

でしたがやつとお午ごろぼきて 翌日は御怨像にまかせまする 一時近くやつと殴り着いたが、

みを取けて来てゐるヴォーカル・一 くして開路に置きましたが樹上 て行った餌艇などはその邊にか が暮れてしまつたので態々持つ が思い程度で済んだがすつかり す。行きには明るかつたので道 りなので道が悪い、どろんこで

いや私ではありませ

松田 すだ後に色々お話し願ひ

る事となった東西ではその第一歩一公院を計説し我が図オペラ連動の の映響常設館主に東晋映響上院を「曹弥集し古べラ役別に招祖を加へって昭三十六本を近く懿表、全国「左記の規定により覧く一般より懸 脳併奏数止燃定に確接版に誘戦す | 理へるに限し盛大なる記念オペラ 松竹、新興、日活、大都の東野県「フォアは早くも今秋川立十周年を 間 それに對する反型として、交遍 の本質的な特色を含った持つて一つ の本質的な特色を含った持つて一次 さものとして限定し、日本特神 と 同述のことにないかも知れた 文 い。然し関係の間はとして近代 を の正統として見ているものには と 間近の方にとはないかも知れた 文 い。然し関係の間にとして近代 を の日本の交話は歴史の間に住むし ・ ことが田光ないし、 ・ の日本の交話は歴史の間に住む をおいてゐる 一大飛躍を指るべく上演用版本を 不問▲上前時間は一時間半以内 ではないよ

~ 今晩ラギオ

な榮養素が必要だからです。 食物に好き嫌ひの多いお子 さんは、 を利用して、 が遅れます。 お子さん可愛なら、 嫌ひな物も、 榮養が片寄り發育 發育には色々 偏食を直しま 拭ふが

「に乗つた人なら、 といよのは「敷養者」のための間 

たとけでは、節数が影響をす それでなければ、あの場がを

『「疑診の爲左の通りドス臨時』「疑問によつかる』そんな嗚屈な、「来る四月五、六日は朝腹数なに、か、バスが察診をするのかとい。

これからは、からした文字や文

|番節|| が『番巻||でなければな て、天下の梁を啓からとも思ふ。

穿の上の アラをも どし

例に居た杉紅兒が他てく 掛けてゐるとさ」といふのい で独人は丸質でロイド眼鏡を てゐる時、中田弘二が『それ

文献部、音樂新聞編制部にて語音 し六月中旬の音楽新聞にて観込し ラ選本係宛▲帰切五月

曜三五分ヴィオラ獅葵(東) 韓川窓正本ま合戦(東)県原窓足外▲『

があとで日がたつてからこのア 雨は陸る駆はすく、さんん 最初しておいた自動感が途中道神谷農場に行つたとき、繰りに に例の少しくつゝいたやつたをてスリチビに入り牛のアパラ併 した、やつと金部まで辿り着い くらになっていった。おまけに が悪くて三時間くらの避れまつ 暇つたがこれはらぎかつた。

取りましたね…… まあ、一腮私から

脚味と関す熱

紙上博物館

——代時器石

成るべくあなたの御意思に削 側子息の希望を贈いてみた上 寒感しいことだらう。 ところでおは一人子ださうだ

それとも何か他に希望でもあ 手際よのでせられ、 ロハイ成るべくなら これからはお父さんの仕事を

既は哲学と四個と手工とが

, ée

御力徒へを願ひます」 私から奬めて見ませら

「どうぞくそのやらに

だからそうした仕事に耽きた お父さんはキット反對なさる

る、校長は椅子をすゝめ乍ら物。 比太郎は。校長室に呼ばれてゐ

を建でなかつたら、だから発更に家業が嫌ひと云 心から希つて居られる。 

いまの日本文壇の内部にいやうにも見えるが、氏は民自身はさう関心を持つて

何よりお父さんを安心させ、 ての朝心思に副ふことが

光生は思ふのです。 三十六作品を

東寶近~發表

す、殿は父を悲しませてまで、先生のお言葉どほり 致しま 『よく彫りました』 として四月より九月までに製作す

を が はで 場つてる。の はで 場つてる。の はで 場つで あった。 に含すれてる。 にで 場つで あった。 に含すれてる。 動調する事となつた、なほ五月東

改は素直に家業に致くことを

私の家菜を相覧させたいと思

本人がどうもするまない様子

で實は、そのことに就いて先生

ですね、私も一度経験がありまます。やはり無理をしないこと 田 ませんでしたが全部の

如く好きになること妙です。



日港日港日 舘 柴 婁 日港日港 B まま キゲカワ 館花濃華 舘 央 中 聯繫 ≥≥≥座金黄髎≥≥≥

老夫妻老在在金金女



說演の裁總田

町田郡級河航要言は左の如し界京北路」民政策総合語におけ 一 は突然解散せられま

戦は既に開

絶對勝利

を信ず

官邸御出館、加廉公使の匈遊ばされた後、午後三時公

がこの快適なドライグは、

の板前になる料理を倒貨 本料理店から呼寄せたコスカざ!

> こにも春の夏山は見知されな 中だるところ経事かあり、ど

一使がわざー(ニューヨーク) 輪の午餐館に成らせられた。

配目のこととて一層態度、市公師のやらに美しい、殊に日の起伏、オフタワ市外は恰ら 復な水の流れとなだらかな民

羅し全部で七十年名、秩父宮 めに卸売金、次でキング首相段下は先つイギリス皇帝のた

使マーラー氏その他は期大助位大経章を属せられ

一脚出路、屋下にはボー服に

オツタワにて同盟特派員四

ッタワ市内外を ドライヴ遊ばさる

関下には八時よりホテル・シ 對し側答確避ばされ、次で兩

昨日の同公使の挨拶に

「東京配膳」第七十歳前の協致を

議會通過法律公布

式後大野總監は語る

間た左記法則は上英仰绌可の上五

# 鮮滿鐵橋建設に關する

### 覺え書にきのふ調印 本府東京事務所に 事務所三階應接室に於て大野政務總監、吉田鐵道する覺書の調印式は、五日午後三時から本府東京「Wm まずは智 別野と流徹園を寄に続く 満浦線鐵橋建設に開

**騚第三課長立會、嚴かに行はれ宋事務官が携行 局長、瀟洲國大使詣松井參事官、外務省東亞局花** 國交通、外交前部大臣の署名せる景西に大野和監は見事なる叛闘

朝鮮鐵道交通 研究會總會 過速技式會計畫。防空法

はじめ能理局各職長、能能制能的を翻門氏ら元配置局他の私配的部を 間に開始道局理事、既が、合業、職権の第一回認識を開いた結果、 型交通研究的に言目協適局が 江口元殿道局此四原技、大元

務、建設各職長、即長に金剛山 かし、刺戯形の一種に

昭和 二三 展政 一一

立候補各派別

|大阪市社||人納吸合師では五日| 開き、決定版に陷つてゐた次期

八組次期繰短率

と同時に、中小商化の主張を容 小不能以中之一分五回 四十 湖辺部に網し悩服の結果左の に難して協議の結果

かなつた

官曹操龍に被禁を原節同じの大きなの人と対し、大きないのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きなのでは、一日本の大きない の立刻などの確立を排 の解散を以て時局のか 原田内相、 原野法相、

**蚕中敢正氏律、小運送薬法、日「蘇林壁の風質強力なる建腹を助兵」の法律、日本無線取信株式會社 | 道局に對し決議訴を提出して半島。** 設置されて、極致を放置のよう。 することになり、近く第二回の斉 委員館を開催の等である

## 經濟的平和再建案 先づ英米が通商協定を締結

果然ロンドン新聞界が報道

花質語を機能にルースヴェルト大 **設ノーマン・デヴィス氏は世界砂** 

際へられるところ天の通り 方面の反響を呼び起してゐる、所 1911年の1921年

首相の訓示に 民政黨が反駁

【東京電話】様質相の地方は貨幣 | 反射感覚を表明した

一般内部別場物談の形式を以て左の 派に於ける別ぶに對し、民政滅は 櫻內筆頭總務談

裁總黨政民田町

恩京市長牛塚虎下郎氏は巡る五月

や植物の位地に在つ

として極い情報

相フオノ・プロームベルが元帥の

善を斡旋

デリーテレグラフ紙の外交記者は 野村海軍大將

五月上旬獨逸政府が

六日正式に發令 豫備役仰付らる

使節を南京に派遣

置三郎大將は、ひて現役別辺の決

日支兩國關係の

氏は即年より節烈を選してゐたな「風景形緒」樂部院長兄木ഡ三郎

迭近く發令學習院長更 京城府群令。市圖程

事省項の 長官會 進出 いや近ち 京城支社 京城府資金町二丁目 瓧 案內書送呈 員 招 **有其個學院原列的**其 聘

あり、町田民政会が成は 民教祭して立意認治師

| 時より魚本部に選挙|

接体的方針をもつて関係すること

《漢では五日午後』 にぶせる釈迦陀麒縦に与う、全國(東京寛語) 赴橋大 総選撃、府縣越戦、市町村施選等

きのふ選舉對策委員會を開催

間のある間を知らしめる 南京政府部內 意見對立 中央準備銀行問題で

正せんとの記憶を巡めてみると これる、耐して自の問題に踊し、競野立するに至つたと解へら 第七機構問題で観然政府部内

が加きは誠に無法なる他度と会理氏を以て確認を認ひんとする

30世が有力であるに對し、ポ子斑するのを得つて決定すべしと

コーを出態しボーランド、ラトヴ 【東京電話】 原光大便は五日モス | 後代に適位者を得ることが出来。 となった、同大使の視察旅行は劉 ヴェート政策選行上隣接諸国の

テンランド等ソヴエート戦 後出着として指軍大将野村吉三郎かつたためその仏としつてゐたま 使することになったので、近く左氏が六日以後を退き息間に長に肌 の如く母背院長の関送が配合され ることとなつた

重光大使が視察 結果は頗る注目さる 狭定されることに決定した

てある 野院長に田命されることに内定し

地盤開拓を目指

積極的方針で

指示

れることになつた。京城花祭第十四『花まつり』は陽暦で **貯の現狀から見れば、一つの** 年から陽暦で行ふことと 暦を以て行ひ來つた此の行が認怪層の方針に基づき、 とが出来る。陽時間

핾

行気に陽路に傾向が出來ない 夜十一時京城縣越上成熟行さの戦 | 野山には残害がまだ所々に斑を経過ぎてゐた、きのよ、三月廿六日 | なのだ、心器から取くと凍明りの はまだ趣味い、時間は五時を一寸ある私をいつか揺り起した、逢り 足の先から襲ひ來る寒さはガタゴ のる私をいつか指り起した。遂り、た宇島は念に希着を冬服に着着や・列山の腰靴に毛布を冠つて庭で、春とはいへ急跳下の弦響に覗けれ 荒鷲狙△北鮮

随行して、 北鮮新典の工業部へ向 田中地森町の三百人に西崎地「地は軽くむり込んだ」の山麓の本崎東の関原が改造、勝方角出」っかっザーンの際天の呼び撃に列

方拠長、月之内閣の面々である。

に、私共は却つて危惧の念を持つ し即る地域なのだ、配と母、腕を

法院を戦視した、各所の例が 。國防第一線にある身を忘れて を指示されたが、私は異に れる飲百キロの威夷府民

に架る直接機にそ、夏の成員の難 にする整龍山公園に起つと、

の立つ 足下には古城地が 残され

原望する南総暦) にたのである(宮茣は離龍山から

殺職の社盟法人

#### 水産業今日の發達は 税關檢査に負ふ大 別設に就て 穂積殖産局長語る

てして年々それが盛んになり、今 その指導に置ることになった。

百二十四萬國の融資となつた、鎌一國及び離戯よりの借入れ二千百段四百四十四萬國地的手間月比四千七一公金騰は鬱の総行高二千四百餘萬

い金融低級の部行高二千四日

は二個二千八十五萬国の新記録と

り預金に對する貸出の偏重は愈

干四百度英国であるに對し、貨出一手旨されてゐるが春上り秋までは

なり、京城花祭翠賞館を設けて全桁の『花まつり』を行ふこと

英國地間年同月比八百五十三萬國

內相訓示要旨

地方長官會議で

を惜しみ、反つてこれを重ん 京城ではこの間例の失ばれ

機規度と云つて、四月で

的な資金流

全鮮金組の貸出増加やまず

遂に二億二千萬圓の新記錄

公省し、更に進んで佛陀の粉

行して、世界人類全體を数

語で行ふことになつたことは

、ヤナ協営人長間野敬重氏が来



短着草町に即立された東光楽師 差の後傾夏氏によって、今回 國際拳鬪大試合

日、伊、露、比の四ツ巴

| 際起を求め、好数字として、この | 車々しく即立記念の試合器を 二年間、東京に辛酸修楽し、今東一くとし 開発に非常な人類層を持つジ 四日東光拳創立記念大會

米國政府大童!

鐵銅暴騰と公債低落の惱

産地加によってのみがふべき低い 市場」の質に意味するところは生

告近加中都々内加平面では従来 一を問題して医り秤川直教一四

意思笑の就職音頭 

女社長押切帳

濶葉樹積極

タルテスト 総心のメン

**町産米の聲價實現に** 

一部に於ても監賞庭上継々たるものがある。その苦心証 州徐年に亘る関連諸米政良の苦心器 苦心努力した人々へ感謝 る。弦に米数祭の異視神がある。 朝鮮取引所聯合會朝鮮穀物協會聯合會 益々朝鮮米の歌世を健康するは後人の資格であ

手魔追

夕刊後の市況

協

八五五、〇

伏魔殿 の正體

卓球大會並老童大會 七回春季全朝鮮 八兩日來青閣に開

農林局では京城と城市に野林 京城管林署で

高峰三枝子紅淚<sup>毯</sup>

これだけでも五十錢の價値! タ三百十數頁の小型單行本!

人佛次郎大傑作

り考へてゐるよりも、この際どう 四月一日から戦災附金の値上げ、部原な手織が四銭でよいとなると、て便義共而は出来る行為期いるのが異論されました。戦便観を取締、担合によつては限するともある説、を認い三、四枚銭へ割けばよいこく出す番禺、 困つたことですが、然し、わず

にマンガでも捨てもお好みのもの 香き、 宏地へいつばい文字をW を多く書く工面をすると、ハガキどうせ高くなつたのだから内容 を助添くます

ますから無料の上で五郎は独門す

中へ横線を入れ輸ハガキの形にし 人れた上に、今度は宛名の側の質

父従来の特徴へガキには要談各五五皿の切手を貼つて使用します。 來のハガキをお待ちの方は、こに 銭五川にも愈よお聞れです。 次はハガキなつかしい

> で、出来てしまつてから、 水山田質照に不信使ならの

> > の方は特に治療を心掛け、

して売分拭き取ればざつば

は城川がが指揮ですい旧足 部分に強り、靴をはく肋に したら必ず拭き消め砂白砂

のではありません

るに從つてひどい水虫に僻れる方翅の中で、暖かくな

が続けお配をはいて過ごさ

主婦

手帖

X靴をはいてゐると自然むとが大切です

させ、風速しをよくするこ

れて行をかきますから帰宅

て、必ず是は過源に、欧網 大失戦り春光明から注心し

もます、愛取つた人は大いに異ひ れは旅行の時などに大いに役に立 水虫と煉白紛

便識代で値上の分以上は他回出便識代で値上の分以上は他回出便識代で値上の次人などにはまえです。親しい次人などにはまたです。我しい次人などにはまたです。我というなどのでは一個に対応というなどのでは一個に対応というない。 お問も便選も かんで記 七の他、今まで二弱だった問封

野学市開物の直は従来辿り、月方 かくなつた代り、自方かし民たけ 好になってをります 反對に安くなったのは、自人用

です鼠と青の鼠珠からに引並れせいりウットに流行のアンサスブル ます。プラと膨んだスリープ 然通りで目方が増してをりまする 整治です、機能物師子も、他は征 は五十瓦も多くなりましたから大

か卵力性かあるやうでござみます

着と思ひきつた装師が、このガウ

ンの特徴です

る別台に少いかも知れません。却で食物などよりも切りつめられ

杉田・京の着田れ大阪の食い街

在以上に節続するに致しまして

らるの明石をして西けます。 につき間がをよりかけ、百分

るわけには参りますまいが、近頃一をふつて脳盗をして既石をのせ、 二時間ほど漬けこんで水があがつ てから小松菜を引上げ、硬くしば

に侵されて半身不随になる 際、悪酔の失敗はまだしも 際、悪酔の失敗はまだしも

**勝を填して、胃潰瘍、胃癌** 

し易く、また知らすく、胃とか、鬼角、心身障害を起

となる恐れがあります。

む市税でせる。

されば、もし此の語の哲を除く

此の要求に合改したのが、即ち

大根は乗り一緒に水できれいに

「おおしてなり」はいますれ、私はつてこまかく別々まで、利したにといいますれ、私はつてこまかく別々まで、利したにといいますれる。 識が江川の栗島朝命でい

ければ晩には丁度女べころです

公里公司多回的 四十七)野本年一案並

害なければ

百藥の長なれど~

美酸とか昔から盛んに言ひ傳 酒は菱を排ふ玉箒とか、天の

る程美心くなつてゐます!

翌朝あなたのお肌が見違へ

へられてるます。

問品是本、書類、僚本市も「銭」きのお話しに払き問題でして、お | 「関心に収付の羽椒で出かける方を一つてみちんに割みます、次に扱に 私共のやうに待で参りますと何だ は係り隔壁にし過ぎるといふさつ イスかいとやうじこざいます 随にさら云ふ事質かる でも服装の美 でも服装の美 一部日はもう面けます んでよくまぜ、手で随间のないや せた中に、割んだ小松菜をふり らにおさへて盗をしておきます 三杯、酢一杯を加へてよくませ合

か得過か思いやらに感ぜられます

食慾をそしる

小松菜の粕漬

棃

家庭經濟

あれやこれやの座談會

綺麗過る婦人達

紋付でテパート行 着物の廢物利用

(1)

中、(王) それは大いにきょき。な歌定でこざいきすが、治衣と数「で、質素な洋散の健に新聞は心動」せんので夕飯など美味しさらなら、クトムフでもキリがありますが女利用のきくものでせらか。これですと一看一囲であがるやら、は綴る了解してくれてゐましたの。そこ副生物もゼイタクは語されま、野からリキすし、寝屋討じせイタ利用のきくものでせらか。とにかくさらいつた方に、ヤール三十五銭ぐらみであります。はど虱く仏部に減り出す決心だけ、いりますが、それでも二十四そこ、うにもこれは上切りつめられない配合。勇敢政は総勢利服といび「ドブランコだとかいつた切れ地が「殿つたこともござゐました。です。ものですからお米は月に九十キロ「せら、食物の方はいくら前観しよ配合。

相が的けます、今まで大統略った一

ですから、一銭損はしても改設は つたのが、今度は二十五まで四段 然し今まで十五瓦までに付三銭だ 観明年が四段になったことです。 第一種有封つまり背近の手紙の三

我々一般に一番値いのは

あるのもあります

上つたが、父安くなつたものもあ

り、糯金は上つても目方を増して

頭に入れて置いて、さてその上で

ふ風に値が上つたのか一わたり

色々とコワを考へまもう

人體に於て

小松葉は水流かし棚に入れ、棚一ございます

りも食品方が大切なのちゃんいでれたか云ひますが、やはり暮るよ

石村無調展に衣服を切りつめ

一當 流代

く城の大根がまみるやうに乳しられい葉と白い大根が、丁度化の味噌が葉と白い大根が、丁度化の味噌叫と唸の素をかけて頂きます。 まる関手でかたく押つて器に盛り 頂くときには水洗ひせず、その

普通の制酸剤と違って、 新胃腸薬トモサンは

し、尙且つ腸内の有害細菌 を役崩する獨特の作用があ チン等の刺戟によつて、 物を吸著して大便中に排出 **敷された胃腸の粘膜を強化** し、またアルコール、ニコ 酒毒其他胃腸内の毒素、

胃にも腸にも

ばかりか、酒がもたらす種 痛も治療し、胃も腸も併せ 朗かにした上に、下痢、 々の害を防ぎ、酔ひ心地を て蝋鎚にするのです。 悪幹、二日幹を解消する

當然の結果でせう。 モサンを服用すると、 ぜひ、一度お試めし下さい。 てゐるのは、我身を愛する 引續きトモサンを持薬とし



と突いてゐた中うであるが、最 はよく四八級と上つて、六八玉、 は、「大工」と関いた後、徐ろに一六年 を明いてゐた中うであるが、最 と突いた魔では、辛

る。「作を計るのが本筋だとされてゐ」と與してゐたやうであるが、最近と與してゐたやうであるが、最近

飛車は比較位間で聴くされてゐるがあつての事であらう。此の三版上手方:二飛は何か新らしい研究

させる方法は無いものでせうか 能と致しまして和服と朝鮮服との

しない眠り、朝鮮服が最も経済

配者。さら転しますと二重生活

宋(今)時期の二国と申します

和服といった程度でございました

ですが二番目の子は女の前に入れ

ましてもう二人縁に出しましたの 原 私の方には七人子供がをり 原さんどうお考へですか

現に内地人の方でこれは

◆會費 二日間で六十銭 ◆材料は 歯自由に納む ドミラてもたらぬ中を早くお申込下さい

◆會員五十名限り 敷養の都や上孝人教の影楽が出来ませんので、頼切りと十六日正年より四度(成花譜客)◆來青蘭(太小道本社三階)氏(西天門町171億8 ◆四月十五日 正年より四時(投入講客)氏(西天門町171億8 ◆四月十五日 正年より四時(投入講客)

觀し

點 Rf

老巧と新鋭の初手合せ

興味ある

か、夏分には朝宗服で通し冬分は の割合経済性にも調和大はますで

れる方も私伝じ上げてをりますが

(王) 製分には近隣何だ一つた方もありましたし、自分の総裁位と上げてをりょうが、の数付だけでも三枚もお作りにな

扱させました、娘のお左輩には口 漢昇を決めまして洋服主義で支度

少々はこちらで用窓して置きますからその旨御申込み下さい◆中 **社學製部家庭機係(本町一丁目の野花店に便宜用込んでも料付です)** 

京城日報家庭欄

毎買買でお分もします。◆北上船、及用具はなるべく御辞巻の事。如不便の方の高め また食場・は本町二丁目の野花店からを流り行って来てるますか

でできます。 できらず きょう

紀ず於なと思ひます | 記者 大陸この頃着物にますと私ども朝鮮服がやはり一番 く我つて了びますから

蓮目が破らないといふ懸から申し「夏丁ことは兎ど出級ません、小さで結脳薬の直しが出来ます・節に「ますが、魏の逸つたものに仕立ても一葉か二種ぐらゐの愛獣の桑樑」さいものを小さくすることは出級

大家を禁師として投入と発花の課意質を聞くことにしました。初心者はもとより動型です。本社では語者のお家庭へ発生をする意味で左の如くない奇様で、しから発芽のほと、、またでにすっとお家庭でお捨古をなすつてるお鞭さんにも、郷しいお祝時では、またでにすっとお家庭でお捨古をなすつてるお鞭さんにも、郷しいお祝時の集存となってお花のは料は愛じたつたい、栗枝を出たお鞭さんにもとより、お宮庭の集存となってお花のは料は愛じたつたり、栗枝を出たお鞭さんにもとより、お宮庭の集存となってお花のは料は愛したった。

|立つやう誹師は苦心してゐます| 相當に長くおやりになつてゐらつしやる万にも向くやう。そしてまた賢つで

脱いませずとの方が利きませらね、朝鮮服は大 で高級集件を一から先世の選続利用にやはり利服

はない。 ・などのて配散を で高級発料を ・で高級発料を ・

も至つて配散一多少は高くつきますかしら、それ一なだけ作らせました

第一局

回吸胶 飛送の局面

べきしたらどうでございますかね

服み易く! 格低胺!

代金引換にても即時發送す。販賣元へ御註文を乞ふ。 にあり。若し品切れの時は直接各地の義店及びデバート奏品部

**販賣元** 東京市日本橋覧本町三ノ一 友田

合資會

# 酒を飲む方が一度でもト

#### 吹出物を一掃するニキビ・ソバカス キビ・ソバカス

(TEAZEL) O 薬的効果に就 医基神士 小 林

水用

たら炎(しい御化粧は出来ないので有ませつても地肌が繋で吹出物やニキビが出來で 現れであります、その小さいのは面腹と呼ばニキビは青春期に見られる人間變化の一ツの だ替て無いと云ふても適質ではない就中、主法等を先庸に於て此の如き後がなる化粧水は未法等を先庸 集く研究し最明されたので私の伝送のを光度は、研究し最明されたのであるに対していません。一)化粧(二)健腐(三)炎肌具息チーゼルはへ一)化粧(二)健腐(三)炎肌 双の如く如何に高價なるクリームや自動を輸現れともなります。家を建つる にも土塵が必算かし反面に背茶時代の呪しくも醜い皮肉の

O. W ¥ .50

化粧品店ニアリ百 貨店、楽局

樹レザーリファマース號(七)でゐた常憤ら綴ら意惊、飲酔のルー 沸き返つてゐる

防空防水の完璧期し

同鐵橋改築

小田技師苦心三年の設計圖

| 謝き返うてゐる | らの新人學式に天英別樹の館を服を組と正月を同時に迎へたやらに | 校でも同様自五十名が午前上時か

ルド)とリバーブール駅(七干ト たほ関地からは既日六干トン平均 に輝やいてゐた、また旭小學校のイロン駅(八干トン、荷主ワッサ はおらが春の孫來を編献してゐる | するヶ野中學生・4は醪出娘回希望 はりながら校門をくどり他間小學 べ、はじめて生徒となり先生と呼 からに モデモデしながら如何にも

荷州の國婦 會員を募集

程に相関しい団風景を描き出した

活動を促さんとするものである。「一部の選供を負債してゐる婦人の同様としてその の婦人を網羅し非常時局を除職さ 既を募集中で現役軍人の夫人以外 九日の天長節の住民をドして結成しては来るサ つることになった国际が人命分配

時代を重想し所外工場地帯をめて

る土地の思惑は異が厳んになり、

譽れの仁川消防 授與された表彰旗

樂進出、工業開出の民間開放等々 立、廣楽機器田へのマグネシヤエ 計製確定、三和川尻の丁垣指帯埋

江華金組總什會

されてゐる大部分は一圓程度の芦 つた有様である、然し實際に毀買 風から五、七圓に跳ねあがるとい 災難的松江青田が年二、三十銭か

【仁川】側段五十六年の古い歴史 一つ故遠され大日本的防傷情長か

樋渡組頭携へ歸る

「中語」大同江鉄関を改築すべく」この設計は小田主住技師が二ヶ年「選を行つたが左の諸氏が高速した。 「中語数の契請には「新観の新戯小」ので研究、辨水に經對応、安安監 「東、伽在益、帰國孫、全世鈺、 「東 通 、金芸様、郷金姓、高編 窓よ三大學へ 廻送

一躍一面乃至一周五十銭、沓は二

田姓師が生在となり助手とゝもに、を保護する世界的工夫に凝らされた構築の跳跳には工が認め新級小ので開会、開水に終勤的と安全監督、自下諸処の領地を進めてみるが、に亘つて著心の跳の結果生れたも

**圏を急いでゐたところこの概況 | てゐる** 

東大、京大、九大

6の批判を仰くこととなつた、「【江華】文麿では去る「日奉禄殿」の入學式を舉行、けふから中學生

江華文廟堂議改選

【仁川】五日は際しい入郷式

この世智辛い時世に

なんご嬉しい話題

株券は從業員に分與する

嬉しい入學式

同型合で定期機代育を船艦 「株構造の取用は売と無く、市中は、消明組は金卵前明型のうらから唯一は上京、何及かし表記師を意取りて正明)金維組合では茶石十二日 | 出二、三國の保証で六、七國の曹 | をもも数分の消光実施に即く广川 | ら変数師を想覚されたので帰風預ります。 すってまる イ

署手の所織は四日午前十時半小月 親々の悪戦者が現れて海上は荒れ民島神に投離、この日は々不運慢 后 第一階級突

近い機の四月になったといふに氷

和兵を誇ろかせたが趙山中皇校生

ピンポン等の激技をたし午後八時間が開発を見物、同批支に建上で、事が開める見物、同批支に建上で、大学の関の一行十八名に四日中的カメラ関の一行十八名に四日中的カメラ関の一行十八名に四日本の激技をない。

カメラ風水原へ

一頭に盆と正月

ドイツ船續々と入港して

滞貨の鬱憤たちまち解消

曇のち晴の羅津港

きつて午後一時野手を慰察した。 おさまつたので見事態のトップを 和人百名は雨空もされ火災も高く 用さへ降り出し流石の無敵は脈の

撃を一十一日行・由

神林選挙(永同)地山面

西鮮時代を豫想し

觸手郊外へ伸ぶ

坪二二十錢から一躍五倍へ

南浦の土地熱旺盛

ツかい金銭であるが李銅馬氏はこのかい金銭であるが李銅馬氏の所有に一段六千萬坪といふデ 組織とし伝数や組合の段数は従来れたAB南部に分もA部は資本金れたAB南部に分もA部は資本金 李智郎、趙龍久の南氏が永年終巻。ある四百熊龍島の金山は西韓島郎代に「紫麓山 た磁で現在は定平、永興南部に

能力しかないが今秋までには間、存する大百二十齢縮断もこの自餐 をの股標を終り過式配機を明治・記述に避け避妊である……と 立て数単人の腰川砂壁機構を開すし、の服役に配引推弾機は「うまく行 に舎面放中であり縄大三貫人の。 は中国が中であり縄大三貫人の。 が集を指導したい、無論しれ等の。 した純情を観へたのか……」と近 事業を指導したい、無論しれ等の。 した純情を観へたのか……」と近 事業を指導したい、無論しれ等の。 した純情を観へたのか……」と近 **胆力しかないが今秋までには雨 | トードュōでヨニト除竈脈もこの自餐現在は手捌で毎月 | 子剋の祝嶽 | なほ同氏は殿暦、平北の附近に所** けば大したものだが何時の間にこ 育する六百二十餘鑑匹もこの自登

一面的に統一端立されるものと知り間するので明禄江の安通聯係は一

衰運に焦つた楊句

つひに惡の道へ

親戚や友人らが金策に奔走

とんだ四月馬鹿

が、前後の事情に不無を抱き季の要はれました」と飛び込んで来た 富川郡紫似血科柳洲大李仁東(い) 喰はされた鯖――一日夜十一時頃 が仁川墨香柳崎出版所に『弘益に

紅の唇の従のぶのの大邱法院の櫻

签址に入り實際家を**認み**戦而に國力た、金氏は将陳西漢を卒業後代 使の服名で機構局に吹ることにな

育何遊物に盟場の記人をし弦殿、

農村振興座談會

に足を踏みいれて三十餘間に亘り

5典し華々しく賞業界に乗り出し る姓献を重ね、その後臨成節節 取職では殆ど終了、近く一性出類 館主、商級人員、金相琦氏(デンの

仁川] 腰面の青年實際家協成的 | たが中間の多い総位商はつひに金 | 熱行循環になるから知れないが、

尚議金氏近~送局

同しようともせり、ついこほの道 うか、観察や女人は金銀に八方和とかして知きかけた総成題領を独一出の資金を製べる器が出るであら氏の前途を置つてしまった、なん「盆で精力のどん底にある金氏に味

と共に、有償避好賦以記人詐以行

回しようとあせり、つひに態の道

「成典」是微雄三角を中心とする。| 改及び観光に分乗し物能感初の自物のためには今春の高丁田五名| 各島長等古四十一名が出路した | とり企北、江南南山やか人替つた | 大なつた四百能職所の金山は横縁国邦代に | 登録山といよなしい経験を志して | 工業出入名、商業出入名、日本の新聞社の景道に | は即がな人替つた | トリ企北、江南南山やか人替つた | 入名つた | 1.50mm | 1. 珍らしい金鑛咸南に出現 鴨江の交通統制

た、敗正の順は新河の龍気は双導 だ」と乗続路に腕へ出たことが辨れるもつて磐布されることになっ 寒と口縁、あげくのはては『霊磁器を含むられてのほことになっ 寒と口縁、あげくのはては『霊磁器を含いであたが四月上側には近 き取つた。 町をさました季は季島 った、二日二人とも仁川名に留置。自此でいよく・一日から定期運転 大配宝を作った 運送船の取締改正

柳江華視學

朝も一日から開始した 開始することに決定、また参期 を開始することに決定、また参期

**物語にあたることになつてある。 一個印観は叙述的原始に綴たる光り般のため級に翻修「船の近異鬼か、へを受けて際にしたが明みのに川田ののため級に翻修「船の近異鬼か、へを受けて際にしたが明みのに別りの 一個日朝刊店観读で記載を覧まれる。 一四日朝刊店観读で記載を記載を** 

井戶水檢查

コルフ倶樂部實現

近く羅津郊外にコース選定 初めは九ホール

後の回復に

んなによいものがある

手術後の肉の上りも早い

「精神」かねて薩戴、韓語兩地の一のみで金垣単は動かのとが得つた一ねて思北林成の成骸に瀕し説明。

世界部はいよく 實現の機関線に 現れとなり一先づ安心の悪である。あつて三数に分れ神仏の場合、登職者間に叫ばれて果た繊維ゴルマ ので有意大利開催の命でも自然お 本田山林郡長の権威について注意 是中村 即政支配人、 作山三井物 記念植樹日

窓で経費を打ち午後一時坊機館「航光修つて見暗器で一同折信や正

道に朝鮮松、銀香、提等放干本を

環がよくなり元氣回復す

合業 限革

深 山

仙

酒

反として川樂創造の群集を開始し 種語配在主化の層氏がリーダー 加合、修议ので立山中から振りをかり、以下官民的五百名参加の上記意識と 精手版から清州神社神経で金知事 清州 思北道では三日午前十 膨れる兩地 興南邑は凄い飛躍

官民多数参加し記念権機を行つた

e IE

泰谷

新

慶長以來三百年の家像に

本同時性境内とその附近体野で

郡では三日中町上時か

で配くもゴルフア・やフアンの「一貫一千七百廿九戸、五萬八十三郎では蟾蜍がトツブを坐るわけ、千三百五十人か一・一一六方里、関みにゴルフリンクの出現は北 5 に懸敗され成門府は現在の〇・六年 であった、この一日から新馬城 でかあつた、この一日から新馬城 **六九万里、一萬五千四百十六户、** 四萬 四千二百 九十六人が ニ・五 九二六方里、一两二子百七十九月 百七十七人となり、興南には〇・ 一萬二千七百廿九戶、五萬八千三 1方里、一瓜一干十五户、五两四

「成例」が及び興南凸の行政區域

**咸興は五萬八千** 

なり疲勞倦怠せず

名ですから、成程と思ひれて最々 存っに真質の好話で益々 存

金が、一様にそれで

よくて美味くて、

雅

霄

呈進瓶刂

田

Ж

當る御體驗を...

親に道式ひとしく失覚し地で消倒 | 本記の多々ある折隣。同州事の歌颐 行した 母脈に伊藤紫紫柳茂等が錦布の下では立野町五郎、安黒田剛道音談 配上、今後の手腕力能に恢つべき 思動が即に對し間連絡上の思北施一なほ成。興府では一日午町八時か 清州』 百萬㎡民が歴文と即で金 | 五萬五千二百七十二人と飛躍する ら属則神化で所以指数量円類を 満州の三普

校改稱 ワン公大獵 八十三頭を

【酒州】上二年度から福州第一番 大を作すが、期間を通れば野夫と るが、何主は三日以内に申出れば | 川署では四日野犬弥を行い八十日川| 雅茂の様行所止のため、 一面を加へ目下同名で伊護してゐ

に金刈事の留任運動を起すべく一

く有志大的を開催することに決定。町警校、新設の清州第三曹校は石 日、右三氏が宿合協議を従りし近一校はか町普技、流州第二書校は認 チフス豫防

入れ昨年度明祖県の指泉施行をし、際に野ディスの登明には続き飲をの思度を明に大量となってゐるが **町五日から八日谷、常山町九日第一回(往所班を二班)水倉浦** (ことになつた、その日割石の通り 工事を巡回し一般民衆に對してはたので今年は住所扱を組織して各 各町創作に往射班が巡り施行する 同時合組合を組織して大工場曲の合成的と連絡し渡に衛生組合並に たところあまり成態かよくなかつ 【永登前】野野客では府公局間

くなり流汗を忘れました

接替東京六八五五等 一種 本 輔 凸 張 所 東京市投谷城上匝四丁目 州 香地

77年7と腹劇

復が早くお乳もタップリ

期自動車

樹が町十日▲第二(注葉班三班)

頣

●强脳强精の目 4 胃腸衰弱の

的

◆神經衰弱の人

大

三理川大

ŭ

K

●虚 弱 體 質 ◆根氣薄弱の

Ø

@産前産後の婦人

◆病後回

復

期等々

●貧血冷込みの人

◆呼吸器贏弱の人 ◆不眠・息切れの人





柗

信州鹽澤家傳

黄

つけてありますから御殿者



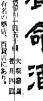












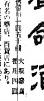






































郎 次 元 田 藤

爾 浩 葵 資 元

養命酒本舖天龍館



加

店

橗

藥器 4

二內親王樣

左の日程で呱(冫)

見要を終くさせられ、四日

書館の

**補助椅子** 

東京電話] 関西方面の頃

上午後一時十四分沿部 体あらせられた孝智、順居

絶對に罷りなら

安徽で广東で東征東領東の一日一斉に脱塩主その他與石融保着「石山寺ではなってあたが、最近の「この脈に就いての異石者側の個分型はの田県低に突出した」ことになり細期後子総製破止を五一域興行協働の申合せで、自秘的に「るため繁理がつかなかつたもので

きのふ京畿道保安課から嚴命

るので、配客が醗味入れ着りをす映戯館が三回連飲選行を行つてるたじ殿がともなつてゐた、これは

|| 香芝田町で影響して通行人に響|| か|| とびも幸楽力を搬つて暴れ出|| 休比。ピアノ、十時ころ足域光照見|| 7 一〇五龍|| ころ『陳進盤|| 歌の腕師を始らぬ | ヴアイオリン

交番の警官六人がかりでやつと押一行してゐる肝臓を巡回中の警官が

音樂會一テナー後島成

巡査六人で漸く捕獲

柔道二段の大虎

研してみたもので、出入にも非常

垄

よって映戯館は大いに用用化され間の宿跡であった細助椅子座止に

図取述正中を東大門 動成に捕つた さん方へ四込み交易来群士 国位を

せんと四日夜安岩町一一八字稲雨

心は仲良しの男が金がなくて毎日

早熟に罪あり

通じて翻渡行脚を行ふことにな

た、そして六月廿日から一週間

を訪れることになったので、

迎へるため、五日午後三時か

画情れの日本 ・を訪問

らの出迎へを受け朝鮮ホテルに投

民のため来野記な護波費を開催す

話を行ひ、同夜は府民館で京城府

語を行ひ、同夜は桁玉鶴で京城村 在城官或有恵主版の語を行ひ、同夜は桁玉鶴で京城村 在城官或有恵主版の

不安面目な人思言を整理するため、南日平墳でも辞滅を行ひ、前別各

教育年頭では一とになった、なほ女史は廿五、六の

**三字女歌迎會** に照む

行ひ、半島の罷避を験に描きなが

参山に上陸、廿一日参山で彫刻を目主館岩銭大阪の穀内で六月廿日

る歴女は大阪ライト・ハウスの盲 間半に亘つてトムソンが吹き指数して総大な放数と整晩を採めてる 名のために本財第一食堂で収一時して総大な放数と整晩を採めてる 名のために本財第一食堂で収一時

とに決つた、廿世紀の奇識と同午後三時から本府職は一下七百

て一部は高学がである域大を訪問、軽生し、女史は成大から聞途、漢生った、女史は成大から聞途、漢生った。女史は成大から聞途、漢生

港を出れ、今に平洋上を走つ

[編長、奥山、林南屬記、

**第水本府里特局長、金吨印取** 

レン・ケラー女史

**外鮮日程きまる** 

**六月廿二日入城三日間滯在** 

一重通譯で講演、研究を行ふ

| 哲楽質能は司令官、南続替、宇虹八宗艦長|| 總督 官 邸の 晩餐 會 【前列右から】能開陰手輪長

二千に近い簡潔で担内は超別地 日午後六時から府民館で配された

陸の勇將と 海の提督交聴 練習艦隊首脳を招いて

總督官即晚餐會

鍾路一帶の 飲屋を調査

職、全部に亘って政治な測立を行っ 保安保では去る卅日から署政を哲 一

に散発する正飲屋第三百八十軒の一ほを強励したり。

以上の展女を使用したり、

中には気局の配をかすめよかられ る内外遺伝をはじめ、網路町一番

止されてゐるにも揃らずコッソ

型のオンドル間に待らせてゐた

京城夜の各所収穫町の一角に陣取

礟道の昇給除外組

探問艦隊の海軍大樂隊両奏會は五 担待して晩餐館を励したが、腔の を五日午後六時から倭城鑑賞版に | 強制たる吹突線のプログラムは記 聖手順長以間大佐以上雅府十七名 | 淡に次で、無敵は本龍山のやら る上機関、大行、三種、山田谷 車樂のタ 古地市お、八窓郡技学加大佐で一匹と常徳作用の現代」と取了を総合は入城中の報答解除司令長「攤鍋中佐税附近大民の『太平洋 will型して散節した。 変型へてはり切る労威権軍の高 努め、午後七時半無條約第一 二官選兵隊長野を交へて歌 費も海の提督等を迎へて 昨夜の府民舘 ル時散館がはすつかりを海の子々となつて められ。別場の聴衆は最後の施里と

在門県川部隊島間の途上にある即 息 軍慰問 愛婦代表 **返隣の途入城** 

一律に改正初任給へ引上げより

波瀾免れぬ形勢

上映することになってゐる野山で物意映画を午後七時半から

殿、八日西四州町高 町三一の四金岩得さん方へ敷日期

不合格の家田

から止倒中の大印から埋化女気

て起

四ヶ所で甘茶の接得がある。す 析民館で見覧のために々花祭の

既に畑野の俗地かない状態にあ

化成の不便にはならぬものと見 ので、今回の蠍正分も事實と 趣の列山のことして新規競技

を佩し、一般古男青女には五

き」で入城、京城監練育は 本々どり氏い東京、干頭、埼玉、 各様の漫画婦人部分間長、脱事ら 長若宮一三大佐、神奈川縣代政節

初代給引上げを行ひ、引つづき一 初仕給を引下げて特定給と 取門學校出音五十七名の 鍛 を示し一説調を選型されてゐる。 組中には相當將派を慰覚されてゐ との要求を出す模様である、不平 常に配い近に終く間上げよ を伴り、午後四時半から機志が成 等に配い近に終く間上げよ 1. ま。 1. ま。 1. ま。 1. ま。

「他を記る花御堂を可愛いお種気である。 「他をおり午後二時四十分出版、探教」

京城の三墓地

自殺する間の問題きを残して褒な不合格を苦にして四日朝九時こと

んが引張りながら本町通を実に陳「近き将來に市街地化を繋撃される像を配ら花和堂を可愛いお稚児と「京服府が示す念テンポの翻覧から

料金泥の仕業

破壊さる

後一時半出越、知路道を東大門に もう一蹴は同じくパコダ公園を午

べるが公職

交番前

一窓地及び瀬南町の製器院第二架地 金胡町の水銀祭地、帰里町の帰里

つて東西町町に出て武弘に向ひ、



電光石火、金簪を搔つ拂ふ

七十人の行列が 春ば何では全所民が伸陀の温かい

| 離京城が野を管域とする京城花祭 人が二家に分れて命やかな大行列日に行はれることになつたが、甘 人間避、幼稚園見など内等級七千週の総群をかゝげて陽騰の四月入 とにカンオ・電上・4元9月1日 4 年は少飯の町みて息るな々と動権一例年に劣られば大な行事 の陸渡を祝ふ四別の花まつりは本 にも人混みを押分けて価嫌ひ、ア

脳り基を荒し動り、愈よ身の危险 所を徘徊中、右馬所で宋女のピ **崎殿工を勤める傍ら夜となれば各** を出る中、巻天に飛び印

**的子故長者三百除名を派せ一月十八日ニユーヨーク郷光館ドイツのレライアンス號(二萬トン)は世界** 

[七川電話] 春の観光朝鮮をかざるお馴染みの豪雄

の案内に多性を極めてみる。「一日朝、花のやらな観に入場することになつた、「川世昌洋行では庶然歌に入場することになつた、「川世昌洋行では庶然歌にながら十日夜歌魚ぶからに川

を出げ、各地を見物しながら十日夜受息島からた

日路船、肥府に向ふが、船長はこれまたお馴染み深い

北多三百名は特別仕立の一等列車で京城地物へ、

日夜アスピリンと野沢水を開遊へ門町一の二〇二祖相作書に同住師 附近の開院で手出して

全鮮産業品展覽會

伯爵や世界的大質社ドイツ・イゲ質社(ダイナマイ名をはせたレフトホーフン氏の令勇レフトホーフン のと含糊が怪事の中壁となり々人所能度々としてドイツ人へンス・キイフさん、一行中には時期で

に全師産業品服設館は上 日間京城南大門運廊工 内約百名の金融事に促促月十



取 取 取 版 版 授 份

中京借敗

で六人がかりで育く取押へ一演による音の音樂大演奏音は、

る(入型料は一回均一)

浪商優勝

日午後七時半から析成前に明か

瀟洲から舞戾つた前科者



「のぞみ」となってもたが摩山局 のが、京場日産時間は最初九日の

界へまず兄

當的未未個配社受配別法特殊 合期測據 以以入 途定有 以 理 人人许有 收排保 助 前證院部 精體 立立音 方

機能 (1995年 1995年 1995年

○本芸○七七番へ
○ 九二 酉 齊

回毎に五十 **作**診

思南大田府本町二 思南大田府本町二 思南大田府本町二 7 三 四 田 谷 宮 二 即 京城番割同好官敗資部 があった。 「一般をは、 「一般を、 「一般をは、 「一を、 「一を、

講義見本內並付無代泊县 日本普文大學出版 東京市下冷風上時機木町八ノ

型。

理 翼 教 世 選 教

教授指導 帝都五大學

手的三然內 平期一期已

二付省略文

● 第一日 では、 ・ では、 ・

に無秀優 < **建**完構機

アイスケー の金儲け!!!

#

**三語等株式會** 

信务問屋 日本相互 供頭板 吉老桶 各種價券。公價/置別 來月 損 簽 物………… 其他在用關於 其他在用關於

**庁城本町**一丁目 木 受験が高い。経常の関連の教育信用を日進へ 時 計

三時近本人來談アレニ時近本人來談アレー時が本人來談アレー 自能履修計捌帶午後一時ョリル何談ノ上 自能履修計捌帶午後一時ョリ內地人整理事務ニ絹迪シ鮮語ヲ解スル四十四地人整理事務ニ絹迪シ鮮語ヲ解スル四十四級 埋 保 募 集

報告

店

+

2.7

朝鮮日報に国路路地に追込み引加 数を同派出所護田巡査が観見追跡のと散く人々を見目に逃走する怪

築建ひて重體

01010000A

美味で安價で

町温されに研がい料

富

滋養、豊

御の担所に留つ て明き込みや

を投げ出さなくてはならない

のはあるが、月三回から多くで に物質が終っては物給に加よる五回といる質問さ、ほどのやう 勿喩そのほめの手出とい

品店にあり 販賣店

東京日本福 各地有名食料 柳屋特製

人用国証のもの 二頭茶ダー保として侵 次ダー保として侵 ででは、三の数

大品製菓所 審いろは旅館 海 鶏 鳥

學術は一般特に日猫 金子也店 一提覧 

